

# 学外研修報告

## 第 6 回設備サポートセンター整備事業シンポジウム 参加報告

共通機器部門 藤高 仁

### 1. はじめに（目的等）

第 6 回設備サポートセンター整備事業シンポジウムに参加し、設備サポートセンター整備事業の最新の動向と今後の展開を聴講することにより新たな業務が発生した場合にも柔軟に対応できるよう備えることを目的とした。またシンポジウムに先立ち研究イノベーション学会の分科会が開催されたため優良な情報収集に努めた。

### 2. 期間・場所

期間：令和 2 年 1 月 31 日

場所：宮崎観光ホテル（宮崎市）

### 3. 参加者等

主に設備サポートセンター整備事業採択校の教職員 約 200 名

### 4. 研修内容

第 6 回設備サポートセンター整備事業シンポジウムに参加しこれまでの採択校での取り組みの報告、文部科学省研究振興局学術機関課より整備事業の役割を解説いただいた。

当シンポジウムの立ち上げにご尽力された元北海道大学 URA 現) 東工大統括理事江端教授の講演「現場からマインドセットを変える」を聴講した。

併せて研究・イノベーション学会の分科会の発表や報告を受けた。

### 5. まとめと感想

平成 23 年度より開始した研究設備サポート整備事業であるが、来年度で事業自体は終了する。機器共用の事業自体は次々と新たに設けられているため、今後も重要な課題であることが伺える。事業の内容は共用機器運用の機関全体の組織作りで、特に技術職員の有効な活用を求めた内容になっている。

このことから我々技術職員は一層の自己研鑽に励み学内共同利用はもとより地域貢献や地域の産学官連携（外部利用）の推進にも積極的に貢献していかなければならないことを実感した。

また今回は研究・イノベーション学会の分科会が開かれ研究基盤の発展にまつわる様々取り組みの発表や報告を聞くことができ大変有意義な場に参加できたと感じている。